



杉浦日出夫

先生を偲ぶ メモリアルコンサート

奥村志緒美
(Primo)



奥村百合名
(Secondo)

梅田智也



©Marisa Shimamoto

兼重稔宏



©平館平

〔動画出演〕
亀井聖矢

※当日会場での
演奏はありません

©Ryuya Amao



中根浩晶



進藤実優

©NIFC Archive



2026 8.28 金 18:00開演 (17:00開場)

刈谷市総合文化センター アイリス 大ホール 全自由席 2,000円(税込)

主催：愛知ピアノ研究会

後援：鷺谷高等学校、刈谷市、株式会社河合楽器製作所、桜丘高等学校音楽科、一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)、名古屋音楽学校、名古屋音楽大学、明音会(愛知県立明和高等学校音楽科同窓会)、株式会社ヤマハミュージックジャパン

〔マネジメント〕 クラシック名古屋 052(678) 5310

〔プレイガイド〕 アイ・チケット 0570(00) 5310

アイ・チケット 検索

アイ・チケットはこちらから ▶



刈谷市総合文化センター 窓口 芸文プレイガイド 052(972) 0430

※やむを得ない事情により、公演内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。※未就学児の入場はご遠慮ください。

【お問合せ】クラシック名古屋 052(678) 5310

※御香典、供花、お供物はご辞退申し上げます。※出演者へのプレゼントや差し入れはご辞退申し上げます。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

杉浦日出夫先生



東海地方を中心に演奏活動を行うとともに、後進の育成に尽力し、国際的に活躍するピアニストや日本各地で音楽教育を担う数多くのピアノ指導者を育成し、日本のピアノ教育界へ輝かしい功績を残した。また、幅広い知識と教養、指導力が注目され、音楽大学や全国の楽器店などでのピアノ演奏法、指導法などのセミナー、公開レッスンを担当し、地域におけるピアノ教育の発展にも大きく貢献し、コンクールなどの審査員、雑誌や書籍の執筆、楽譜の発刊、合唱曲の作曲など幅広い分野でも活躍した。名古屋芸術大学元講師、愛知県立明和高等学校音楽科講師、ミヨシネット会長、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会理事、愛知ピアノ研究会代表などを歴任。

奥村志緒美 (Primo)

シューベルト 幻想曲 ヘ短調 D.940 Op.103

愛知県立明和高等学校音楽科、東京藝術大学ピアノ科卒業。同大学院修士課程修了。在学中に芸大モーニングコンサート出演。これまでに太田さと子、杉浦日出夫、本村久子、長谷正一、西川秀人、江口玲の各氏に師事。ピアノデュオを角野裕氏に師事。Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールセミファイナル奨励賞、PTNA特級セミファイナル入選。ソリストとして新日本フィルハーモニー交響楽団、藝大フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団と共演。大学院在学時には声楽科(露語)ティーチングアシスタントを務め、現在も特に声楽家と多く共演し各地で演奏を行う。NHK-FM「リサイタル・パッショ」出演。サントリー芥川作曲賞選考会にて新曲初演に携わるなどアンサンブル演奏も幅広く行っている。都内音楽教室の常勤講師として後進の育成にも力を注いでいる。ヨーロッパ国際コンクール in Japan 特別優秀指導者賞、PTNA指導者賞・新人指導者賞を受賞。

奥村百合名 (Secondo)

愛知県碧南市出身。愛知県立明和高等学校音楽科、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。同大学院修士課程修了。在学中に特待生奨学金を受ける。また短期留学奨学金を受けザルツブルク・モーツァルテウム夏期アカデミーに参加、ディプロマを取得。これまでに太田さと子、杉浦日出夫、多美智子、御木本澄子、本村久子、長谷正一、武田真理、倉沢仁子の各氏に師事。PTNAピアノコンペティション特級ファイナリスト(第4位)など受賞。ソリストとしてポーランドクラクフ室内管弦楽団、東京シンフィニハーモニック管弦楽団、セントラル愛知交響楽団と共演。TimeArtEntertainmentのプロデュースでiTunes等各社音楽配信サイトより「月の光」[Cafe Piano]をリリース。クラシックのみならずさまざまな著名アーティストとの共演も多く、活動は多岐にわたる。東京音楽大学非常勤助手を経て、現在は明和高等学校音楽科、名古屋音楽大学にて非常勤講師を務める。後進の指導に力を注ぐ他、コンクール審査も数多く務めている。

梅田智也

ブラームス 4つの小品 Op.119

岐阜県出身。5歳よりピアノをはじめ、これまでに奥村真、杉浦日出夫、長谷正一、西川秀人、東誠三の各氏に師事。愛知県立明和高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業後、同大学大学院修士課程首席修了。修了時にクロイツァー賞、大学院アカンサス音楽賞、藝大クラヴィア大賞受賞。修了と同時に、ロータリー財団奨学生としてウィーン国立音楽大学に留学し、M.ヒューズ氏に師事。第62回全日本学生音楽コンクール全国大会第2位、第38回ビティナ・ピアノコンペティション特級銅賞、第12回東京音楽コンクール第1位並びに聴衆賞、リヴォルノピアノコンペティション(イタリア)第2位、第11回ラニー・シュル・マルヌ国際ピアノコンクール(フランス)第3位、第9回トレヴィーゾ国際ピアノコンクール(イタリア)第1位、第10回浜松国際ピアノコンクールにて日本人作品最優秀演奏賞を受賞など数々のコンクールで優勝、入賞を果たす。小林研一郎、円光寺雅彦、広上淳一、大井剛史、岩村力、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など著名な指揮者、主要なオーケストラと共演。A.ヤシンスキ、A.ゴプリン、J.ルヴィエ、B.L.ゲルバー、J.アチュカロ、M.J.ピリス等著名な音楽家のレッスンを受講し研鑽を積む。2024年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。東京藝術大学非常勤講師(2019-2023)を務め、現在、名古屋芸術大学専任講師、京都市立芸術大学、愛知県立明和高等学校音楽科非常勤講師として後進の指導にも力を入れている。ホームページ: <https://tomoya-umeda.com>

兼重稔宏

ベートーヴェン ピアノソナタ 第30番 ホ長調 Op.109

ソリストおよび室内楽奏者として、ボローニャ音楽祭、ブダペスト春音楽祭、シュタツカペレ・ドレスデン475周年記念週間、Toppanホール・ニューイヤーコンサート、東京・春・音楽祭、メクレンブルク・フォアポメルン音楽祭、ヒューストン・パッハ週間、エンガディン音楽祭、クララ・シューマン生誕200周年記念音楽祭など、国内外の音楽祭・演奏会に出演。ライブツイヒ・ゲヴァントハウス大ホール、ゼンパー・オーバー(ドレスデン)、ヴィガドー(ブダペスト)、コロッセオ(ポルトガル)をはじめ、ヨーロッパ各地の主要なコンサートホールにて演奏を重ねている。三重県津市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を卒業。2012年に渡独し、ライブツイヒ音楽演劇大学修士課程および演奏家課程を最高点にて修了。在学中より同大学副学長ゲラルド・ファウト氏の助手を務める。修了後は母校であるライブツイヒ音楽演劇大学および東京藝術大学にて教鞭を執り、現在は京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、洗足学園音楽大学、明和高等学校にて後進の指導にあたっている。これまでにピアノを中村文保、杉浦日出夫、堀江孝子、渡辺健二、上野真、エヴァ・ボヴォツカ、ゲラルド・ファウトの各氏に、歌曲伴奏をアレクサンダー・シュマルツ氏に師事。エリザベート・レオンスカヤ、メナヘム・プレスラーの各氏の指導を受ける。ゼフィルス・ピアノ五重奏団メンバー。

亀井聖矢

(動画出演) ※当日会場での演奏はありません

リスト 「バガニニによる大練習曲 S.141」より第3番 嬰ト短調「ラ・カンパネラ」

2022年、ロン・ティボー国際音楽コンクールにて第1位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞。2025年、エリザベート王妃国際コンクールにて第5位を受賞。2019年、日本音楽コンクール第1位、及び聴衆賞受賞。同年、ビティナ特級グランプリ、及び聴衆賞受賞。2023年には、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、出光音楽賞を受賞。ラ・ロック・ダントロン国際ピアノ・フェスティバル、ヴィリニウス・ピアノフェスティバル、リール・ピアノフェスティバルなどの音楽祭に出演。2024年7〜9月に開催された日本ツアーでは全16公演で約2万人を動員した。その他、ウィーン、パリ、シドニー、ソウルなど世界各地でもリサイタルを行い、好評を博した。これまでに、ワルシャワフィル、ブダペスト響、N響、読響など国内外のオーケストラと多数共演。2022年12月には、1stフルアルバム「VIRTUOZO」をリリースし、「レコード芸術」誌にて特選盤に選出。また、「情熱大陸」「題名のない音楽会」などメディアでも多数取り上げられるなど、今ももっとも勢いのあるピアニストとして注目されている。 <https://www.masaya-kamei.com/>

中根浩晶

ショパン 幻想ポロネーズ 第7番 変イ長調 Op.61

東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学卒業後に渡独し、ドイツ国立ベルリン音楽大学を経て同大学院修了、ドイツ国家演奏家資格を取得する。東京藝術大学卒業時に同声会賞、読売新人賞を受賞するほか、飯塚新人音楽コンクール第1位、第2回ベルリナー・ピアノコンクール第2位等、国内外のコンクールで受賞をしている。ドイツにてデビューリサイタルを開催し、以後演奏活動を開始する。室内楽奏者としての評価も高く、ベルリン放送交響楽団首席フルート奏者のウルフ・ディーター・シャープ氏、副首席フルート奏者のルドルフ・デブラー氏と共演するほか、カワイコンサートシリーズにおいて青柳晋氏と2台ピアノで共演するなど、ソロ・アンサンブルの演奏会に多数出演している。ソリストとして藝大フィルハーモニー管弦楽団、ドイツ・ブランデンブルク交響楽団等とも協演。飯田真樹「ピアノ作品集 第1集・第2集」(fontec)をはじめとするレコーディングに携わるほか、コンクール審査員やセミナー・公開レッスンの講師を務めるなど幅広く活動している。ピアノを杉浦日出夫、小林仁、ハリーナ・チェルニーステファンスカ、ガブリエーレ・クプファーナーゲルの各氏に師事。室内楽を渡辺健二、ヴォルフ・ディーター・バツドルフ、クルト・ザンデルリングの各氏に学ぶ。現在、金城学院大学文学部音楽芸術学科准教授、愛知県立明和高等学校音楽科非常勤講師として後進の指導にあたっている。日本ショパン協会正会員。

進藤実優

リスト 「巡礼の年 第2年「イタリア」 S.161」よりソナタ風幻想曲「ダンテを読んで」

パッハ=マイラ・ヘス カンタータ「主よ、人の望みの喜びよ」 BWV147

2002年生まれ。第19回ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)ファイナリスト。第7回ヴィエゴ市国際ピアノコンクール(スペイン)第1位及び聴衆賞受賞。キッシンガー国際ピアノオリムピック(ドイツ)第3位及び聴衆賞受賞。第45回ビティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル銀賞及び聴衆賞受賞。NHK「リサイタル・パッショ」、「ベストオブクラシック」、「クラシック倶楽部」等多数のメディアに出演。これまでに第75回マントン音楽祭(フランス)、第41回霧島国際音楽祭をはじめ、国内外で演奏。また読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、北京中央音楽学院交響楽団、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団などと共演。江副記念リクルート財団第53回奨学生。2018年よりモスクワ音楽院付属中央音楽学校(ロシア)にて学び、2021年卒業。2022年4月よりハノーファー音楽演劇メディア大学(ドイツ)在籍。4歳よりピアノを始め、現在アリエ・ヴァルディ氏に師事。またこれまでにヴァレリー・ピアセツキー、杉浦日出夫、二宮裕子、関本昌平、本村久子、細野真由美の各氏にも指導を受ける。